

## 2021年「重点指導事項」

日本高等学校野球連盟  
審判規則委員会

### 「フェアプレイ」と「スピードアップ」

昨年2020年はスポーツ界にとって華々しい年になるはずでした。それが新型コロナウイルス感染拡大により、東京五輪・パラリンピックをはじめ国内外の様々なスポーツ大会が中止となり、高校野球も戦後初めて、選抜高等学校野球大会・全国高等学校野球選手権大会共に中止に至りました。

秋季大会から試合を続けることが可能となりましたが、昨年の試合不足は同時に指導機会不足につながり、夏の甲子園交流試合や秋季大会ではそれを裏付けるような好ましくないプレイ・マナーが散見されました。

今年は昨年に引き続き「フェアプレイ」・「スピードアップ」に重点を置いた指導をお願いします。

下記項目はその中でも特段の注意を払いましょう。

#### 1. 正しい投球動作 5.07 (a) (1) (2)

2018年から他団体がいわゆる2段モーションの緩和（走者なし）を実施した際、高校野球では、正しい投球動作（スムーズな投球動作）の励行・徹底が重要であるとして、高校野球特別規則27を制定しました。今後も、いわゆる2段モーションの規制がなくなってもこれまでと変わらない運用で、中断（投球動作中に一時停止）と認めれば、指導及び規則適用していきます。

#### 2. バッテリー間のスピードアップ 5.07 (c) (1) (2)

投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球しましょう。また、これを受けた投手はただちに投手板を踏んで、投球位置に就きましょう。

#### 3. 正しい捕手の位置 定義17 5.02 (a) 6.02 (a) (12)

捕手はホームプレートの直後に位置しましょう。

#### 4. 捕手のフレーミング

マナーとして、投球を受けた捕手が“ボール”をストライクに見せようとする意図でキャッチャーミットを動かしたり、球審のコールを待たず自分でストライクと判断して次の行動に移ろうとしたりする行為は止めましょう。

#### 5. 打者がヒットバイピッチ（死球）を得るために投球から避けない行為 5.05 (b) (2)

投球を避ける動作のないもの、及びエルボーガードを投球に対して突き出す行為は止めましょう。

#### 6. サイン盗み

マナーとして、走者（特に2塁走者）は投球前、捕手がサインを出し、投手が投球動作に入るまでのタイミングにおいては、不自然な手足の動きに注意しましょう。

相手選手が疑念を抱くような発声・動作は慎みましょう。